

## 事務事業チェックシート

事務事業No 事業名  
688 真舟芸術振興基金事業

[長期総合計画]

分野別目標	2 住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5 郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2 芸術・文化の振興
取組方針	1 芸術・文化活動の推進

事業種別	継続
事業期間	~
事業実施の根拠法令	和歌山市真舟芸術振興基金条例
関連個別計画	
担当課・担当課長 (Tel)	文化振興課 宮田 真吾(435-1194)
関連課	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		教育費
会計・予算区分	項		社会教育費
	目		文化振興費
会計・予算区分	大事業		文化振興事業
	事項		真舟芸術振興基金事業

### 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）		事業内容		
	若手芸術家の育成や伝統文化の承継を目的とする。		<ul style="list-style-type: none"> <li>書道講習会事業 著名な書道家の指導により、「かな書道」を正しく理解し、表現力や創造力を養うことを目的とした講習会を開催し、その成果を展覧会の形で発表する事業</li> <li>若手芸術家育成事業 和歌山市の芸術文化振興と若手芸術家の育成を図る事業</li> <li>子どもも太鼓ワークショップ事業 子ども達に和太鼓の鑑賞や実演する機会を提供することで、日本の伝統文化の継承等を図る事業</li> </ul>		
実施内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	書道講習会 秋期 11月23、24日 受講者数 21名	書道講習会 夏期 8月15日～16日 受講者数 29名	書道講習会 夏期 8月13日～14日 受講者数 38名	書道講習会 夏期 8月12日～13日 受講者数 27名	
	和太鼓ワークショップ 市内小学校4校にて実施 参加者数 399名	和太鼓ワークショップ 市内小学校4校にて実施 参加者数 22名	和太鼓ワークショップ 市内小学校2校にて実施 参加者数 10名	和太鼓ワークショップ 市内小学校5校にて実施 参加者数 1名	
	若手芸術家支援事業 1名	書道展覧会 1月23日～1月7日 和太鼓ワークショップ 市内小学校5校にて実施 参加者数 365名	書道展覧会 1月13日 和太鼓ワークショップ 市内小学校5校にて実施 参加者数 357名	書道展覧会 1月12日 和太鼓ワークショップ 市内小学校5校にて実施 参加者数 3名	
	若手芸術家支援事業 2名				

### 2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	9,000	5,309	8,382	7,223	5,523	4,478	8,141		8,141	
伸び率 (%)	-	-	6.2%	36.1%	▲5.9%	▲38.0%	0.0%	▲100.0%	0.0%	-
人件費										
正規職員	3,641	3,575	4,003	4,303	4,303	5,178	6,132		6,132	
正規職員以外	1,004	936	936	1,042	1,042	1,052	1,262		1,262	
小計	4,645	4,511	4,939	5,345	5,345	6,230	7,394		7,394	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	8,907	5,309	8,382	7,202	5,523	4,478	8,141		8,141	
一般財源 (税等)				21						
所要人数 (人)	正規職員	0.48	0.48	0.54	0.57	0.57	0.65	0.77	0.77	
	正規職員以外	0.48	0.48	0.48	0.48	0.48	0.48	0.57	0.57	
主な予算内訳	非常勤報酬 1,764千円	報償金 1,700千円	子どもも太鼓ワークショップ開催委託料 1,390千円	若手芸術家育成補助金 800千円						

### 3 目標及び実績

活動指標	指標名		単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	講習会等開催数	回							
成果指標	講習会等参加者数	人	目標値	7	7	7	7	7	7
			実績値	5	7	7			
			達成度 (%)	71.4%	100.0%	100.0%			
成果指標	講習会等参加者数	人	目標値						
			実績値						
			達成度 (%)						

#### 4 事業の評価

評価基準				
【妥当性】事業のニーズはあるか	<input type="radio"/>	増加している	横ばい	減少している
【妥当性】事業手段は妥当か	<input type="radio"/>	現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
【妥当性】官民の役割は妥当か	<input type="radio"/>	市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
【妥当性】緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	<input type="radio"/>	緊急性は薄い
【有効性】更に効果が期待できるか	<input type="radio"/>	できる	あまりできない	できない
【有効性】成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	<input type="radio"/>	達成していない(70%未満)
【有効性】上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	<input type="radio"/>	貢献度は低い
【効率性】事業費を抑制できるか	<input type="radio"/>	できない	制約はあるが可能性はある	できる
【効率性】受益者負担の見直し	<input type="radio"/>	適正	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の 方向性	充実		<input type="radio"/>	
	現状維持			
	縮小			
	廃止			
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	和歌山市出身の書道家、故山本真舟氏の遺志により作られた「真舟基金」を活用し、平成18年度にスタートした事業である。各事業において参加者において概ね好評を得ており、一定の成果が表れているものの、今後も引き続き更なる事業の充実に努めなければならない。
見直し・改善内容	書道講習会事業については、受講者の増加を目指す。また、講習会の成果発表の場としての展覧会を開催し、本市におけるかな書道の更なる振興を目標とする。 子ども和太鼓ワークショップ事業については、市内小学校を一巡することを目指し、多くの子どもたちに古来から伝わる伝統文化に触れる機会の提供に繋げる。 若手芸術家育成事業については、対象者の知名度や集客力の向上ができるよう、更なる広報の強化と芸術家の協力、競演等を推進していくとともに、市民に優れた芸術文化に触れる機会を広く提供することを目指す。